週ごとの指導計画（単元指導計画）　新様式例

高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

教科担当者：　（1組：島村、森本）　（2組：島村、石井）　（3組：島村、蔡）　（4組：木村、石井、島村）　（5組：木村、石井、島村）

使用教科書：　（「高校数学Ⅱ」実教出版　　）

使用教材：　（「高校数学Ⅱ専用スタディノート新課程版」実教出版　　）

単元の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元名：　（１章　複素数と方程式　１節　式の計算　　）

単元の評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。 また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

実施予定：　4　月　2　週 ～　5　月　3　週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日) 1組	2組	3組	4組	5組	6組
第1時	・式の見方を豊かにするとともに，3次の乗法公式および因数分解の公式について理解を深める。また，二項定理を用いた展開や，分数式の四則演算ができるようにする。	1. 整式の乗法	○			・3次の乗法公式や因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 （発問評価・課題提出・定期考査）						
第2時												
第3時		2. 因数分解										
第4時												
第5時												
第6時		3. 二項定理		○		・3次の乗法公式や因数分解の公式について，既に学習した2次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査）						
第7時												
第8時												
第9時		4. 分数式										
第10時												
第11時					○	・3次の乗法公式を数の計算に活用できることに関心をもち，実際の計算に活用しようとしている。 （授業態度・課題提出）						
第12時												
第13時												
第14時												
第15時		中間考査										